



## 共通テスト試験、健闘する！

### ◆ 皆さんの成長を頼もしく感じています

月曜日の自己採点から数日が経ちました。結果の受け止め方は各人それぞれかと思えます。自己採点日から赤本の閲覧に進路室を訪れる生徒や、翌日から登校し学習を再開する生徒が多く、水曜日からはさらに多くの諸君が特編授業に臨んでいます。個別試験を見据えて切り替えている皆さん、その前向きな姿勢を頼もしく思います。言うまでもなく、本当の勝負はこれからです。共通テスト→私大→国公立前期→中期→後期までの約2ヶ月間、現役生の学力は大きく飛躍します。3月の後期試験まで見通し、最後まで戦い抜いてください！

### ◆ 出願校決定に向けた個別面談、ボーダー変動、得点調整の有無に留意しよう！

さて、自己採点結果には3年生の健闘が現れていました。初の共通テスト、みんな本当によく頑張りましたね！次頁から大学入試センターからの「中間発表」と、予備校からの「参考資料」を示しました。当初、平均点低下と難化が予想された共通テストでしたが、全国集計による試験概況は「900点総合の平均点は昨年のセンター試験と比較して、文系・理系とも大きな点数変化なし」です。しかし、理科②と公民科目で平均点に大きな隔たりが見られます。得点調整が行われた場合は、ボーダーの見直しが必要ですので、情報に留意しましょう。

今後は志望動向を加えて、本日のリサーチ返却後、担任面談を通じて出願校の最終決定を行います。皆さんの志望をかなえるために、学年と進路指導係の総力を挙げ、可能性を検討して、全力でサポートします。

⇒今年は国公立の出願期間が例年より2日長い。早計は禁物。じっくり出願校を検討しよう。

### ◆ 個別試験対策について

なお、個別試験において共通テストのような高得点狙いは困難です。難関大学では正解率50～60%が合否ラインとも言われます。問題の難しさを覚悟する一方、合計点で合格最低点をクリアすることを目標にしましょう。形式・分野・難易度などの出題傾向は、大学ごとに特徴があるので、赤本などの過去問研究は必須です。実際に問題を解き、疑問点は教科担当に質問しましょう。攻略ポイントは、①難問だけにとらわれず、できる問題を落とさないこと ②記述式では部分点まで狙うことです。「思考力＝解答過程」が重視され、最終的に誤答や未答でも部分点が加わります。計算途中でも、式を立てて筋道を示すことが大切です。

#### 進路室からの諸連絡（お願い）

##### ① 受験結果はすべて報告すること、面接・実技試験は報告書に協力を！

今後は、受験と合格発表が連続していきます。学校では調査書の発行台帳で管理していますので、すべての受験校について「合否結果」が判明次第、学級担任まで報告してください（まずは電話連絡でも構いません）。また、面接・実技試験を受験した場合には受験報告書に協力をお願いします。

##### ② 不要な赤本の協力をお願いします

4Fにある赤本の多くは先輩の寄贈品です。出願しないことになった大学や、今後の受験を終えて「不要になった赤本」は、後輩のために寄付してくれると嬉しいです。進路室まで届けて下さい。